

● 雨宮 恵美先生による接遇研修

平成25年12月25日(水)

接遇トレーナー・教育コンサルタントの雨宮恵美先生をお招きし、接遇研修を行いました。研修は今回で4回目となりますが、入社5年未満の職員を対象に、『基本的な心構えと接遇対応の基本』というテーマのもと、ロールプレイングを交えたわかりやすい講演をしていただきました。委員会メンバーも日々の取り組みを振り返り、反省すべき点や気付いたこともたくさんあり、接遇の大切さを改めて認識できました。これからも法人全体で、接遇改善に取り組んでいき、訪れた方々に気持ちのよい対応ができるよう日々精進していきたいと思っております。



医療サービス改善委員会

● 年中行事



11月1日(金)~文化祭(ひまわり託児所の作品)



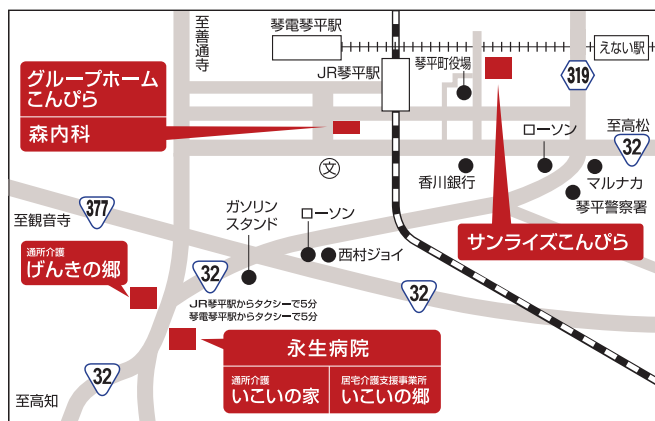
12月24日(火) クリスマス会にてプレゼント交換



1月9日(木) 鏡開きにてお抹茶接待

【編集後記】

新たな年です。今年の干支は午年、「物事がうまくいく」「幸運が駆け込んでくる」など午は縁起の良い年です。正月に天馬の夢を見ると、一年中の邪気を除き幸運が舞い込む運の良い年になると言われています。皆様はどのような初夢を見られたでしょうか?消費税率の引き上げや環境問題等、私たちを取り巻く様々な問題は後を絶ちませんが、私たちは病院理念のもと、皆様に親しまれお役に立てる情報を今後も「ゆるぬき」を通して発信していきたいと考えております。今年もどうぞよろしくお願い致します。皆様にとって素敵な年になりますように...



医療法人 圭良会

- 永生病院  
香川県仲多度郡まんのう町買田221-3  
Tel 0877-73-3300
- いこいの郷 (居宅介護支援事業所)  
Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護)  
Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護)  
仲多度郡まんのう町買田102-1  
Tel 0877-58-8811
- 森内科  
香川県仲多度郡琴平町167  
Tel 0877-73-4188
- グループホームこんびら  
(認知症対応型共同生活介護)  
Tel 0877-73-0811
- サンライズこんびら  
(小規模多機能型居宅介護)  
香川県仲多度郡琴平町福井字池田451番地1  
Tel 0877-58-8600



永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

永生病院広報誌「ゆるぬき」第34号  
発行元：医療法人 圭良会 永生病院  
編集者：医療サービス改善委員会  
住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3  
TEL:0877-73-3300  
FAX:0877-73-3202  
永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>  
eメールでのお問い合わせは [keiryokai@eisei-hp.or.jp](mailto:keiryokai@eisei-hp.or.jp)  
発行年月日：平成26年1月10日

永 生 病 院 だ よ り

季刊  
2014  
冬号 vol. 34

# ゆるぬき

【理事長のあいさつ】

医療・介護の分野における「輪」

【うまげな話】

「ビタミンCの効能」

【委員会活動紹介】

「院内感染対策委員会」

【行事報告】

第8回 院内学会

第55回 全日本病院学会 in 埼玉

第21回 日本慢性期医療学会 in 東京

雨宮 恵美先生による接遇研修

年中行事

【編集後記】

■ 病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■ 基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません  
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします  
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、  
全員参加で取り組みます



KEIRYOKAI

## ● 理事長のあいさつ

### 医療・介護の分野における「輪」

京都清水寺において、2013年を表す漢字は「輪」と発表され、森清範貫主が大きな和紙に墨で「輪」と書き上げられました。日本漢字検定協会に全国から寄せられた応募17万290通のうち、最多の9518通が「輪」であり、2020年東京オリンピックの開催決定や、富士山の世界文化遺産登録など、日本中が輪になってわいた年であり、また相次ぐ自然災害にも支援の輪が広がったことなどが理由に挙げられたとのこと。森貫主は、「『輪』には大勢の人が手を握りあい円滑に回転していくという意味がある。来年も震災復興など輪のつながりに努力していきたい」と述べられています。このような「輪」の精神がこれから目指す医療・介護の分野でも必要なのではないかと考えます。

日本は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進んでいます。65歳以上の人口は、現在3,000万人を超えており(国民の約4人に1人)、2042年の約3,900万人でピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。団塊の世代(約800万人)が75歳以上となる2025年(平成37年)以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。このため厚生労働省では、2025年(平成37年)を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた

地域で自分らしい人生を最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を計画しています。各市町村レベルで、医療・介護連携のもと、自助・互助・共助・公助の輪がつながり、高齢者の尊厳を大切にケアシステムが出来上がれば素晴らしいことと思われませんが、現状の医療・介護制度下では、医療難民、介護難民がでてきそうです。

地域包括ケアシステムにおいては、医療、介護の連携があらゆるところで要求されます。終末期ケアを考えたとき、特に両者の密接な連携が必要となります。しかしながら、医療制度改革はまだ途中であり、急性期、慢性期、回復期間での相互理解も不十分です。介護の分野においても、医療との連携がスムーズでない面があります。医療、介護に従事するもの全員が、相互理解のもと目指すところを見据えながら、実際に自分が今何をやらなければならないか、各自の役割を考えながらすすめていくことが大切であると思います。今後2025年に向けて当法人内でも自らの役割を見つめ直しつつ、より良い医療・介護サービスの提供を行ってまいりたいと存じます。

理事長 森 伊津子



健康は毎日の食事から...

## うまげな話

### 【第6回】 ~野菜について~ ビタミンCの効能

ビタミンというのは、生命の維持活動に必要な有機物です。ビタミンの中でも一番有名なのがビタミンCです。ビタミンCは人間にとってなくてはならない成分です。今回は、この「ビタミンC」についてご紹介したいと思います!

#### ビタミンCの主な効果効能

- 血管や皮膚を強化し、抗酸化や抗ストレス作用
- 鉄の吸収促進・貧血防止
- 動脈硬化・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症予防
- 風邪の予防・治療

ビタミンCが豊富なのは、野菜や果物です。ビタミンCは、ストレスや喫煙で失われやすいので、思いあたる方は、積極的に補給をしましょう!

#### 成人1日あたりの摂取目標値 100mg

ビタミンCを多く含む代表的な食品とは...

ビタミンCを含む食品	含有量(mg)/100g中	ビタミンCを含む食品	含有量(mg)/100g中	ビタミンCを含む食品	含有量(mg)/100g中
赤ピーマン	170	黄ピーマン	160	芽キャベツ	160
菜の花	130	レモン	100	カリフラワー	80
キウイフルーツ	70	いちご	65		

うまげな料理カード 2人分

疲れやだるさも吹き飛ばす健康スープ!!

**赤ピーマンスープ**

材 料 赤ピーマン:500g コンソメスープ:320ml  
塩・こしょう少々

作り方 ①赤ピーマンはへたと種をとり、乱切りにする。  
②コンソメスープ(水320mlにコンソメ顆粒小さじ2杯)を火にかけ、①を柔らかくなるまで煮込み、ミキサーにかけ攪拌する。  
③②を鍋で温め、塩・こしょうで味をととのえる。

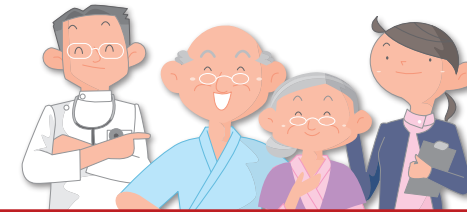


## 委員会活動紹介 1

### 院内感染対策委員会

#### 院内感染対策とは

病院とはある意味特殊な環境であり、年齢・性別・生活環境などが異なる様々な人が病気の治療のために共同生活をされています。そのため、家庭や職場といった一般的な生活環境とは異なり、細菌やウイルスによる感染症が起りやすく広がりやすい環境でもあります。そこで、病院などの医療機関においては医師や看護師だけでなく、医療機関で働くすべての職種が感染症に対する知識や理解、予防法を習熟し院内感染防止対策に取り組む必要があります。



#### 当院の院内感染対策への取り組み

当院では、病院長をはじめ各部署責任者からなる院内感染対策委員会を月1回開催し、院内感染に関する各種調査の報告や感染対策の検討・見直し、院内感染対策マニュアルの整備などを行い、病院全体で院内感染対策に取り組んでいます。また、院内感染対策委員会とは別に、感染対策の実働部隊として医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師からなる「ICT(感染制御チーム)」を設置し、感染対策の実施状況を週1回のラウンドで確認・指導を行うほか、職員に対しての院内感染に関する教育を行って知識や技術の向上にも努めており、きめの細かい対策を実施しています。また、地域の医療機関とも連携し、年4回の院内感染に関わるカンファレンスを行い、院内だけではなく地域全体の感染対策への取り組みにも参加しています。

今後も、当院では院内感染対策委員会およびICTを中心として、より安全・安心で信頼される医療が提供できるよう全職種・全職員が協力して院内感染防止に努めてまいります。

院内感染対策委員会

### ● 第8回 院内学会

平成25年9月2日(月)~10月8日(火)

今年で8回目となる院内学会、62演題の発表の中から優秀な4演題が選ばれました。患者様、入居者様、一人ひとりに寄り添って努力していることが他部署の職員にもよくわかり、よい刺激となった発表でした。

- 最優秀賞 「化膿性関節炎患者の外支援助を行って」..... 3病棟
- 優秀賞 「患者移乗補助用具「スルスルボード」を作成して」..... 1病棟
- 優秀賞 「気管切開患者の嚥下機能向上がみられた一症例」..... リハビリテーション科
- 「わし、夏祭りで歌うぞ!~入居者の声をかたちに~」..... グループホームこんぴら



教育委員会

### ● 第55回 全日本病院学会 in 埼玉

平成25年11月2日(土)~3日(日)



全日本病院学会では、医療安全管理委員会から『医療安全管理委員会の取り組み ~インシデント報告書を集計して~』、教育委員会からは『アンケート調査を活用した院内教育の改善』と、2つの委員会の取り組みを発表しました。全日本病院学会では、様々な職種の演題を聞くことができました。学会で学んだことを今後の業務に活かしていきたいと思えます。

### ● 第21回 日本慢性期医療学会 in 東京

平成25年11月14日(木)~15日(金)

日本慢性期医療学会では、永生病院から『気管切開患者の嚥下機能向上がみられた一症例~普通のご飯が食べたいし、話もしたい~』、『介護療養病棟における8年間のバイキング食事を振り返って~多職種協働による取り組み~』、『当院における耐性菌の検出状況と薬剤感受性率の変化』、グループホームこんぴらからは、『わし、夏祭りで歌うぞ!~入居者の声をかたちに~』、また、サンライズこんぴらからは、『利用者の状態に合わせた支援~長く自宅での生活を続けるために~』の5演題を発表しました。皆、院内での練習の成果が表れ、本番では落ち着いて発表することができました。

これからも信頼される医療を目指し、様々なことに取り組んでいきたいと思えます。



今号の『健康ひろば』はお休みさせていただきます。